

いわみざわ

# 市議会だより

傷を治すのは友達の大切な言葉だよ



令和3年度「絆づくりメッセージコンクール」空知管内 最優秀賞

岩見沢高等養護学校 岩谷 翠さんの作品

## 今号の主な内容

■ 予算審査特別委員会・質問項目 .....	2
■ 代表質問 .....	3
■ 一般質問 .....	7
■ 審議結果 .....	8
■ 議会を傍聴してみませんか？・編集後記 .....	10

# 令和5年度各会計予算総額890億5,300万円を可決

令和5年度予算案などの審査のため、予算審査特別委員会を設置し、3月10日から16日にかけて審査を行い、全ての議案において可決すべきものとされ、本会議において令和5年度予算が可決されました。

質疑した委員		主な質疑（項目のみ）
総務	武田委員	●国際交流推進事業費●シティプロモーション推進事業●開庁140年・市制施行80周年記念事業 ●高度情報通信基盤整備事業●市民の学び支援事業
	日向委員	●教育大学連携事業●教職員住宅管理事業●小学校管理事業●中学校管理事業●文化のまちづくり事業
	猪口委員	●職員研修費●職員厚生費●広域連携加速化事業●保育・教育人材確保事業●教育支援センター事業
	山田委員	●地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定●移住定住促進事業 ●地域イノベーション推進事業●教育支援センター事業●教育指導振興事業
民生	木村委員	●高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業●特別会計国民健康保険費予算
	宮下委員	●不妊・不育症治療費助成事業●公共施設の管理委託料●男女共同参画社会推進事業
	上田委員	●病院事業会計予算●共生のまちづくり推進事業●疾病予防推進事業●健康ポイント事業 ●認知症総合支援事業●国民健康保険条例の一部改正●生理の貧困対策事業●マイナンバーカードの到達 ●特別会計国民健康保険費予算●特別会計後期高齢者医療費予算
	河合委員	●保健総務管理事業●健康寿命延伸事業
経済建設	越戸委員	●農業DX推進事業●競馬場等施設管理事業●中心市街地活性化対策事業●観光振興戦略推進事業 ●まちづくり推進事業●公園造成事業●市営住宅管理事業
	豊岡委員	●除排雪事業●公園造成事業
	池島委員	●観光振興戦略推進事業
	齊須議員	●農業関係試験事業●創業支援事業●緑化推進事業
総括	上田委員	●市営住宅使用料（歳入）
	山田委員	●個人市民税・固定資産税（歳入）

代表

一般

質

問

令和5年度の市政方針及び教育行政方針について、4会派4名の議員が市長、教育長に対して代表質問を行いました。また、2名の議員が一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

## 代表質問、一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

### 代表質問

#### 市民クラブ 平野 義文 議員

1. 令和5年度予算編成について
2. 行政改革大綱について
3. 新型コロナウイルス感染症について
4. デジタル技術の活用推進について
5. ゼロカーボンシティに向けた取組について
6. 住宅施策について
7. 開庁140年、市制施行80周年について
8. 教育行政について

#### 政和会 池島 和行 議員

1. 「地域で支え合う 安全・安心なまちづくり」について
2. 「みんなが健康で元気に暮らせるまちづくり」について
3. 「活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくり」について
4. 「豊かな心と生きる力をはぐくむまちづくり」について
5. 「自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくり」について
6. 「市民とともに創る 持続可能で自立し

- たまちづくり」について
- 7. 育ちと学びを支える教育環境の充実について
- 8. 図書館運営の充実について

#### 日本共産党議員団 上田 久司 議員

- 1. 安全・安心なまちづくりの上からも、大軍拡や戦争の動きを止める取組について
- 2. 新型コロナウイルス感染症の5類への変更等に伴う対応について
- 3. 高齢者が元気に活動できる支援について
- 4. 消費税減税、インボイス制度の廃止の国への働きかけ等について
- 5. 物価高騰対策、電気代高騰対策について
- 6. 基幹産業の農業を守るためにも水田活用交付金削減をやめるよう国に声を上げることにについて
- 7. 子どもの医療費助成の拡充について
- 8. 学校教育の推進について
- 9. 小中一貫校の取組について
- 公明党 齊須 正友 議員
- 1. 少子化と人口減少について

- 2. 重点政策「地域で支え合う 安全・安心なまちづくり」について
- 3. 重点政策「みんなが健康で元気に暮らせるまちづくり」について
- 4. 重点政策「活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくり」について
- 5. 重点政策「自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくり」について
- 6. 育ちと学びを支える教育環境の充実について
- 7. 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進について

### 一般質問

#### みどりの会 河合 清秀 議員

- 1. 雪対策について
- 2. 人口流失を防ぐ政策について
- 3. 未就園児の子育て支援について

#### 日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

- 1. 生活保護制度の改善について
- 2. 義務教育費用の無償化及び軽減策について
- 3. 新型コロナウイルス感染症対策について



市民クラブ  
平野 義文

## 行政改革大綱について

### 行政改革大綱の策定

【市長】平成25年に策定した行政改革大綱については、最終年となる今年度において、これまでの取組の総括と次期計画の策定を進めてきた。

基本方針の一点目の成果を意識した効率的・効果的な行政運営においては、第6期岩見沢市総合計画を策定し、予算編成及び事業の執行に反映させるとともに、市民意識調査や外部評価を取り入れた行政評価システムを導入し、PDCAサイクルに基づき進化管理を確立した。

基本方針の二点目の市民満足度を重視した行政サービスの向上においては、岩見沢市まちづくり基本条例を制定し、ともにまちづくりを担う基盤を整備した。また、スマート・デジタル自治体の一環として導入した書かない窓口は、利便性の向上と行政事務の効率化が図られている。



来年度からの次期行政改革大綱は、重要な要素の一つとして、行政運営の根幹となる、先見性を持って政策を立案し、推進できる職員力、計画的な育成等を通じた資質向上と意識改革とともに、デジタル技術を活用した事業の実施、ごみ処理の有料化、ふるさと応援寄附の活用、公共施設の統廃合や公債費負担の平準化などにより、収支不足15億円まで圧縮し115億円の改善が図られた。

### 中長期財政計画

現行の中長期財政計画において、130億円の収支不足に対し、市税等の収納率の向上や合併まちづくり基金を活用した事業の実施、ごみ処理の有料化、ふるさと応援寄附の活用、公共施設の統廃合や公債費負担の平準化などにより、収支不足15億円まで圧縮し115億円の改善が図られた。

次期計画は、持続可能な財政運営のあるべき姿として、単年度収支の均衡による収支不足の解消と将来に負担を先送りすることのない安定した財政運営の確立を目指していく。

## 開庁140年、市制施行80周年について

### 市史に関連する新たな発行物

新たな発行物の予定はないが、市史に関する企画として、広報いわみざわの4月号から、これまでの郷土の歩みや郷土に関わりの深い人物・出来事などをシリーズで12回連載する予定としている。また、各地域の産業、文化、教育などを取り上げた写真パネル展をまなみーるで開催し、市民の皆様にも、楽しみながら郷土の歩みを知り、学んでいただく機会を設けたいと考えている。

こうした広報紙の企画やパネル展を通じて、市民の皆様と情報を共有するとともに、関係機関や郷土史を研究されている方々の御意見や御協力をいただきながら、将来のしるべき節目に向けて、市史発行を検討していきたいと考えている。

### 記念イベントについて、どのような検討がなされているか

教育大学岩見沢校との連携により取り組んできた芸術文化・スポーツのまちづくりを象徴する試みとして、関係団体や卒業生の皆さん等の御協力もいただきながら、美術展や演奏会、健康づくりやスポーツに関

連した複数のイベントを9月から10月にかけて、市民会館やi-BOX、大学構内など、市内各所で開催することを予定し、大学や教育委員会と詳細について協議を進めている。

### 共通ロゴマーク等による市民連携

ロゴマークについても、市だけでなく、大学と共同で使用できるデザインをコンセプトとして、教育大学の学生が主体となって制作が進められており、完成後はポスターやパンフレット、プログラムやホームページ等への掲載をはじめ、あらゆる機会を捉えて芸術文化・スポーツのまちに向けた地域全体の機運醸成や、市内外への発信に活用していきたいと考えている。

また、企業や団体等でのロゴマークの使用についても、周年記念の冠を付した協賛行事等の実施条件とともに、検討を進めている。

代表質問の録画映像  
をYouTubeで配信  
しています



代表質問：平野議員

※質問者の前にはアクリル板を設置するなどの感染症対策を行った上で質問を行っております。



政 和 会  
池 島 和 行

**地域で支え合う安全・安心な  
まちづくりについて**

**——冬のくらし支援事業のこれまでの  
取組状況と今後の事業展開**

【市長】冬のくらし支援事業は、平成24年度に高齢者、障がい者のみの非課税世帯を対象に高齢者世帯等雪下ろし助成を開始し、平成25年度には、非課税世帯に加え、均等割のみ課税されている世帯へも拡大し、平成26年度には、重度障がい者のいる世帯に加え、障害者手帳を保有している者が居住している世帯も対象とするなど、要件の拡大を行ってきた。

さらに平成30年度には、間口除雪助成を開始するとともに75歳以上としていた高齢者世帯の対象年齢を70歳以上に引下げ、令和元年度には、定期排雪助成を開始するとともに病気やけがにより除排雪作業が困難な世帯も対象にするなど、対象要件や助成内容の充実に努めてきた。



今後とも制度の周知はもちろんのこと、サービスを受ける市民と事業を行う事業者との需給バランスにも考慮しつつ、よりよい制度となるよう努めていく。

**——豪雪でも岩見沢に安心して住める  
除排雪レベルのPR**

除雪業者のノウハウやオペレーターの高い技術のほか、道路除雪に伴う置き雪処理や運搬排雪時の交通規制への住民理解も含め、当市の除排雪は、道内でもトップレベルにあると認識しており、今後もICTを活用した除排雪などについて、幅広く周知するよう取り組んでいく。

**活力と賑わいに満ちた魅力  
あふれるまちづくりについて**

**——米粉の生産・販売の促進**

米粉の生産は、JAいわみざわが製造を行っており、破砕米を用いて1日30キログラムが最大製造能力となつている。

販売は、市内のAコープ各店やパン屋、食品製造業者へ出荷しており、市外では、どさんこプラザや、くるの杜などでも行っている。

**——農産物のふるさと納税返礼品としての商品開発**

これまで生産者や生産者グループが行う新たな加工品の開発について、必要な施設・機械の整備に補助を行うことで支援をしてきた。

新年度からは、小規模事業でも活用できるよう補助内容の見直しを行い、さらなる付加価値向上へつなげ、結果的にふるさと納税返礼品として活用されることに期待している。

**——農産物の輸出拡大**

主要作物である米の輸出を平成29年産からJAいわみざわと国内輸出業者との契約により、シンガポール・香港・アメリカ等へ開始している。この取引を継続することで安定的な輸出の拡大にも対応できるものと考えている。

えている。

**——コロナ禍後の観光振興の取組**

マイクローリーズムの推進を基本に、札幌市内発着の日帰り周遊プランや北村温泉と連携した学生団体プランなどの着地型旅行商品の造成・販売や、札幌圏でのイベントをはじめ、道外大都市圏で開催される旅行博への参加など、道内外での観光プロモーションを展開するとともに、多様なツールを活用した観光情報の提供・発信に努めていく。

また、今後戻りつつあるインバウンドに対しては、海外向け旅行サイトにおける体験メニューの掲載や5か国語の翻訳機能を備えた観光ガイドブック「旅する岩見沢」を活用し、海外へのPRや外国人観光客の受入れ環境を充実させるなど、国内外からの誘客を促進していきたいと考えている。

代表質問の録画映像  
をYouTubeで配信  
しています



代表質問：池島議員



日本共産党議員団  
上田 久司

新型コロナウイルス感染症の5類  
への変更等に伴う対応について

——マスク着脱の対応

【市長】マスク着用の考え方は、2月22日に市の新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し協議した。

そこで、市職員については、来庁される方の中には重症化リスクの高い方もおり、感染させない配慮が必要なこと、それ以外の方でも、職員がマスクを着用しない対応すること、抵抗感や不安感を持たれる方もいることなどから、3月13日以降も、当面の間、業務中はマスクを着用することとした。

また、市民への周知は、既にマスク着用に係るチラシを公共施設や関係団体に送付するとともに、ホームページに「マスク着用についての取扱い」を掲載し、マスクの着用は個人の選択が尊重されることやマスクの着用が効果的または着用を推奨する場面を周知するとともに、様々な

理由からマスクを着用できない方も、マスクを着用する必要がある方もいることから、正しい理解と思いやりのある行動を呼びかけている。

——医療機関や市民への対応

国では、医療費自己負担分の一定の公費支援は、期限を区切って継続するほか、医療提供体制において、入院・外来は幅広い医療機関で受診できる体制整備に向けて検討しており、3月上旬を目途に具体的な方針が示される予定となっている。

これを受けて北海道が4月中に策定する移行計画に方針が示され次第、広報やSNS、ホームページ等を活用し、周知をしていく。

また、医療費の一部自己負担導入に伴う受診控えが起らないよう、併せて呼びかけを行っていく。

——ワクチン接種

4月以降も引き続き、公費負担による接種が継続される方針が国から示されており、今後、国からの通知があり次第、接種体制を整え、実施していく。



物価高騰対策、  
電気代高騰対策について

——市民、業者、農家などへの支援

市民への支援は、水道基本料金4か月分の減免を実施するとともに、低所得の高齢者及び障がい者世帯に1万2千円分のプレミアム商品券の交付を行った。また、国の支援制度に基づき、令和4年11月より、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を住民税均等割非課税の方を対象に1世帯当たり5万円で総額6億4千450万円を給付している。

事業者への支援は、原油価格高騰の影響が大きい運送業、クリーニング業、宿泊業、浴場業、製造者に138件4千410万円の経営サポート給付金による支援を行うとともに、食材費高騰の影響を受ける市内の介護・障がい福祉施設を運営する64法人に4千950万円を支援するほか、プレミアム建設券8億6千250万円分、プレミアム商品券13億130万円分の発行を支援し、消費喚起を通じた事業者への支援を行っている。

農業者への支援は、肥料や燃油などの物価高騰対策として、販売農家に10万円を支援するとともに、道では化学肥料高騰対策として、1トン

当たり3千350円を支援する事業を行っており、いずれも3月中に支援金が支払われる予定となっている。また、化学肥料の低減に取り組むことを要件に、コスト上昇分の7割を支援する国の肥料価格高騰対策事業の申請受付が開始される。

——オール電化等への対策

当市で管理している市営住宅等オール電化の住宅は、北村勤労者住宅1LDKの2棟18戸となっており、暖房については灯油を使えるセミ電化と呼ばれる住宅が、日の出団地4棟150戸となっている。

入居する際には、オール電化やセミ電化の仕様について説明し、御理解の上、入居していただいております。電力会社の対応や国の施策など今後の動向に注視していき、市営住宅等の入居者に対して市独自の支援を行う考えはない。

代表質問の録画映像  
をYouTubeで配信  
しています



代表質問：上田議員



公明党  
齊須正友

## 少子化と人口減少について

### ――子育て社会化への転換

【市長】国は少子化への対応を重要な政策課題と位置づけ、当市においても、平成16年度には次世代育成支援行動計画を、平成27年度には子ども・子育てプランを策定している。

子ども・子育てプランは、現在、第2期の計画期間中であり、当初から変わらず「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪」を基本理念に、子どもを真ん中にして、社会全体で子育てを支えること、まさに子育ての社会化を目指した内容となっております。これまで、地域親子ひろばや、ひなたっ子などにおいて、多くのボランティアの方々にと子どもと子育てを支えていただいている。

地域においても、地域子ども会をはじめ、子どもの体験活動を支える多くのボランティアの方々にご協力いただいている。

## 地域で支え合う安全・安心なまちづくりについて

### ――雪出しへの指導やパトロール

道路への雪出しについては、除排雪作業に遅れを発生させるほか、道路幅が狭くなり、交通渋滞や事故の原因となる迷惑な行為であり、一部の事業者や個人による道路への雪出し行為が見受けられるため、市では広報やホームページによる啓発を行っているほか、毎年開催している雪対策説明会や地域除雪懇談会の場において、地域の方々とも連携しながら啓発に取り組んでいる。

道路の雪出しに対する民間事業者への指導やパトロールについて、高齢者世帯等冬のくらし支援事業の間口除雪届出事業者に対しては、堆雪スペースが満杯になった場合には、運搬排雪を行うことを契約に盛り込むよう義務付けをし、道路や公園への雪出しを行わないよう指導しているところであり、届出事業者が増えてきたことから、改善傾向にあるものと認識している。

その他の民間事業者や個人による雪出し箇所については、市民からの通報や道路除雪業者からの情報提供を基にパトロールを実施し、雪出し

行為を行っている者を見つけた場合には、道路への雪出しを行わないよう注意するほか、悪質な場合には、警察とも連携して指導するようにしている。

また、雪出し行為を行っている者が特定できない場合でも、交通に支障を来すような場所であれば、雪出し禁止の、のぼり旗を設置して対応するなど、今後も粘り強く啓発に努めていきたいと考えている。



### ――雪の堆積場としての公園の活用

当市では、公園周りの雪のかきあげなど、道路除雪の雪を公園に入れている点で札幌市との違いはあるが、雪の処理に苦慮している住宅団地において、73か所の公園で利活用している。

また、一定規模の広場を有する公園において、町会による自主排雪での活用として、ロータリ除雪車による公園への投雪を許可し、令和4年度には11か所の公園で、雪解け後のごみの処理などについても、公園を管理する町会の協力を得ながら取り組んでおり、今後も公園の利活用として継続していきたいと考えている。

代表質問の録画映像  
をYouTubeで配信  
しています



代表質問：齊須議員



みどりの会  
河合清秀

雪対策について

——雪堆積場用の不動産（土地）の寄付採納

【市長】当市で地域雪堆積場として使用する場所については、交差点部などの道路の雪をさばくことで、除雪作業の効率向上につながる土地を対象に、無償を原則としており、地域雪堆積場として使用している約930か所のうち、住宅団地内の宅地は約280か所であり、その多くは町会が地権者から借用している。

現在、市が用途を雪の堆積に限定して所有している土地は、市民雪堆積場など恒久的に必要な土地に限っており、宅地については、本来、需要があれば住宅が建築できる土地であること、既に町会が主体となり借りている箇所が数多くあること、さらに夏場の維持管理などの負担が増えることから、雪堆積場として寄附を受けることは考えていない。

——雪のエネルギーとしての活用

岩見沢市域における雪氷熱の導入ポテンシャルは豪雪地帯であるため一定程度あり、その効果についても認識をしているが、初期費用や、雪の集積・保存・運搬などのコストの問題、さらには、経済性の面でも依然として大きな問題が解決されていないのが実情であり、こうした問題の解決を含めた大きな技術革新に期待をしている。

——雪の観光資源としての活用

雪に親しむ体験プログラムとして、スノーラフティングやスノーシュー体験など冬の商品造成を行っており、中でも、かまくらカフェは多くの利用者がSNSに投稿するなど、観光プロモーションとしての効果も得られている。

今後、旅行会社等との連携を図りながら、観光客のニーズに応じた体験メニューの開発に取り組んでいきたいと考えている。

一般質問の録画映像をYouTubeで配信しています



一般質問：河合議員



日本共産党議員団  
山田靖廣

義務教育費用の無償化及び軽減策について

——学校給食費の負担軽減の取組

【教育長】学校給食法の原則に基づき、適正な食材購入費を保護者に御負担いただくことを基本とし、負担の軽減については急激な物価高騰への対応など、あくまで緊急的な取組として行うべきものと考えている。

——学校給食費の無償化実施

受益者負担の下で提供するものと考えている。また、国に対し財政的な措置を求めることについては、現行の制度下で、その対応を国に求める状況にはないものと考えている。

——学校給食費無償化に伴う予算

現在、小学校14校で約3,200人、中学校9校で約1,800人の児童生徒が在籍しており、年間約190食を提供しており、食材費高騰分を含め、その全額を公費で負担した場合、年間で約2億8千万円の一般財源負担が生じるものと試算している。

——道内自治体の実施状況

通年での無償化対応については、小学校、中学校ともに実施しているのが、美唄市、根室市、歌志内市、紋別市の4市、小学校のみが、三笠市の1市となっている。なお、令和5年度において、新たに2市が検討していると聞いている。

——学校給食費の未納状況

市内全校で口座振替を行っており、残高不足等により引き落としができない事例もあるため、再振替や現金納付の対応を併せて行うなど、納付機会の確保に努めている。なお、未納が続く場合には、それぞれの家庭状況を把握した上で督促や納付相談を実施するほか、個別訪問により納付を促している。

一般質問の録画映像をYouTubeで配信しています



一般質問：山田議員



## 令和5年第1回臨時会（1月20日）審議結果

○出産・子育て応援事業、除排雪事業の予算を増額することについて審議

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和4年度岩見沢市一般会計補正予算について(第11号)	原案可決

## 令和5年第1回定例会（2月27日 ▶ 3月20日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	新病院建設特別委員会の中間報告について	了承
報告第2号	総合戦略特別委員会の中間報告について	〃
議案第2号	岩見沢市個人情報の保護に関する法律施行条例の設定について	原案可決
議案第3号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	〃
議案第4号	岩見沢市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	〃
議案第5号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	〃
議案第6号	岩見沢市障害支援区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部改正について	〃
議案第7号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	〃
議案第8号	岩見沢市へき地保育所条例の一部改正について	〃
議案第9号	岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第10号	岩見沢市道路占用料条例の一部改正について	〃
議案第11号	岩見沢市水道事業給水条例の一部改正について	〃
議案第12号	岩見沢市野外音楽ステージ条例の廃止について	〃
議案第13号	市道路線の認定及び廃止について	〃
議案第14号	岩見沢市栗沢球場、岩見沢市栗沢テニスコート、岩見沢市栗沢パークゴルフ場及び岩見沢市栗沢B&G海洋センターの指定管理者の指定について	〃
議案第15号	令和5年度岩見沢市一般会計予算について	〃
議案第16号	令和5年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	〃
議案第17号	令和5年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について	〃
議案第18号	令和5年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について	〃
議案第19号	令和5年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について	〃
議案第20号	令和5年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について	〃
議案第21号	令和5年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費予算について	〃

# 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 22 号	令和 5 年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について	原案可決
議案第 23 号	令和 5 年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	〃
議案第 24 号	令和 5 年度岩見沢市病院事業会計予算について	〃
議案第 25 号	令和 5 年度岩見沢市水道事業会計予算について	〃
議案第 26 号	令和 5 年度岩見沢市下水道事業会計予算について	〃
議案第 27 号	令和 4 年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 1 2 号)	〃
議案第 28 号	令和 4 年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について(第 3 号)	〃
議案第 29 号	岩見沢市議会の個人情報の保護に関する条例の設定について	〃
議案第 30 号	教育委員会の委員の任命について【菊池 亜希氏】	同意
議案第 31 号	公平委員会の委員の選任について【田村 秀樹氏】	〃
意見書案第 1 号	食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定について	原案可決
決議案第 1 号	閉会中の所管事務調査について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第 1 回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障について
- JR 北海道の国有化に関する意見書について
- 「補聴器購入時の公的補助について」の意見書について
- 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛することについて
- 日本国憲法の尊重・擁護について
- 食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書について

## 各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

議案名	市民クラブ											政和会				共産	公明	み	無			
	伊澤幸信	増山宣之	豊岡義博	峯泰教	平野義文	武田貞行	大坂龍起	木村光宏	越戸正樹	篠原藤雄	宮下透	野尻清	池島和行	日向清一	古石英仁	石黒武美	上田久司	山田靖廣	齊須正友	猪口満雅	河合清秀	太田博之
議 9) 岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 15) 令和 5 年度岩見沢市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 16) 令和 5 年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

・表決（賛成=○ 反対=×） ・会派名（共産=日本共産党議員団 公明=公明党 み=みどりの会 無=無所属）

# 議会を傍聴してみませんか？

第20回統一地方選挙を経て、第21期の岩見沢市議会がスタートします。  
令和4年に完成した新たな議場で、新たな岩見沢市議会を傍聴してみませんか？



## STEP1

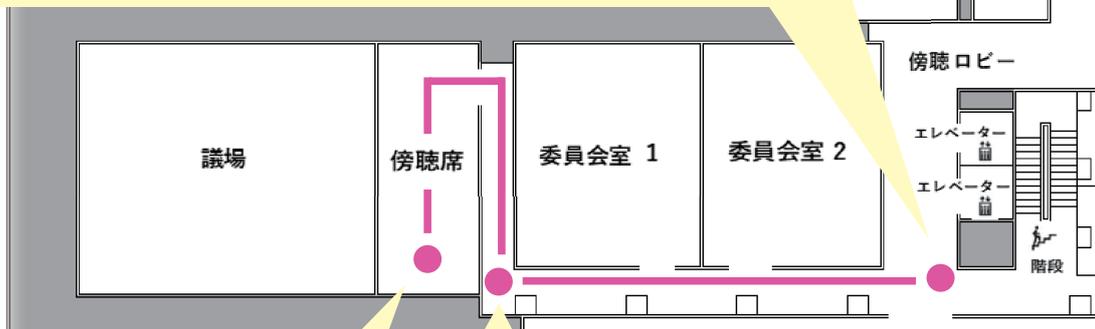
1階「総合案内」前のエレベーターで4階へ。

## STEP2

4階でエレベーターを降り、左側の通路から傍聴受付へ。



YouTubeで  
当日の生配信もしています。  
そちらでもご覧いただけます。



STEP4 お好きな席で傍聴できます。



STEP3 傍聴受付をして、傍聴席へ。



## 編集後記

広報広聴委員会副委員長 池島和行

雪の降り始めはどうかと心配しておりましたが、今年は例年になく、雪解けが早く花々の季節を一足早く迎えられるそうですね。

道内一の品種と広さを誇る、いわみざわ公園バラ園もリニューアルから10年が経過し、今年はさらにバラがきれいにたくさん咲くことでしょう。皆さんもどうぞ足を運んでください。

我々、市議会議員も選挙を終えリニューアルし、市民皆さんの為に日々働いて参ります。今後ともよろしく願い申し上げます。

[委員長] 武田貞行

[副委員長] 池島和行

[委員] 越戸正樹

峯 泰教

宮下 透

日向清一

山田靖廣

猪口満雅

河合清秀

太田博之

## 議会の傍聴について

本会議と委員会は、簡単な手続きで傍聴することができます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き、基本的な感染対策にご協力をお願いいたします。

※ご不明な点は議会事務局までご連絡ください。

議会事務局  
Tel 35-4907

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会

